

議員全員協議会会議録

平成27年 7 月 10 日

宮 古 市 議 会

平成 2 7 年 7 月宮古市議会議員全員協議会会議録目次

(7 月 1 0 日)

議事日程..... 1

出席議員..... 2

欠席議員..... 2

説明のための出席者..... 2

議会事務局出席者..... 2

開 会..... 3

説明事項（１）..... 3

閉 会..... 6

宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時

平成27年7月10日（金曜日） 午前10時

場 所

議事堂 本会議場

○

事 件

〔説明事項〕

- （1）宮古市復興交付金事業計画について
- （2）その他

出席議員（27名）

1番	今村正君	2番	小島直也君
3番	近藤和也君	4番	佐々木清明君
5番	白石雅一君	6番	鳥居晋君
7番	中島清吾君	8番	伊藤清君
9番	内館勝則君	10番	北村進君
11番	佐々木重勝君	12番	須賀原チエ子君
13番	高橋秀正君	14番	橋本久夫君
15番	古館章秀君	16番	工藤小百合君
17番	坂本悦夫君	18番	長門孝則君
19番	佐々木勝君	20番	落合久三君
22番	松本尚美君	23番	坂下正明君
24番	茂市敏之君	25番	藤原光昭君
26番	田中尚君	27番	加藤俊郎君
28番	前川昌登君		

欠席議員（1名）

21番 竹花邦彦君

説明のための出席者

説明事項（1）

企画部長	山崎政典君	復興推進課長	多田康君
復興推進課副主幹	川原栄司君	復興推進課主査	大向守君
復興推進課主事	加藤敏也君		

議会事務局出席者

事務局長	上居勝弘	次長	佐々木純子
主査	菊地政幸		

開 会

午前10時 開会

○議長（前川昌登君） おはようございます。ただいまから議員全員協議会を開会します。

ただいままでの出席は27名でございます。会議は成立しております。

それでは、次第に従いまして会議を進めてまいります。

○

説明事項（１） 宮古市復興交付金事業計画について

○議長（前川昌登君） 説明事項の１ 宮古市復興交付金事業計画についてを説明願います。

山崎企画部長。

○企画部長（山崎政典君） おはようございます。お忙しいところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

本日の説明は、宮古市復興交付金事業計画についてでございますけど、今回で第12回目になります。12回目の申請は、5月21日に申請いたしまして、6月25日に交付可能額の通知がございました。したがって、その内容を本日説明させていただくものです。12回目の申請ですけれども、対象は平成27年度事業。二つの継続事業について追加事業費を申請いたしまして、申請通り認められたものとなっております。

なお、詳細につきましては、復興推進課長の方から説明をさせていただきます。よろしく願いをいたします。

○議長（前川昌登君） 多田復興推進課長。

○復興推進課長（多田 康君） おはようございます。それでは復興推進課から、第12回復興交付金事業計画についてと題しまして、国から交付可能額の通知がありました配分の結果の内容を中止に、ご説明をいたしたいと思っております。

これまでも交付可能額の通知のつど、全協を通じまして皆様にご報告をさせていただいておりますが、今回も同様に手元の総括表、それから事業別状況の表を用いて説明をいたしたいと思っております。

ただいま部長の方からもお話いたしましたとおり、今回の申請は春先に行われたもので、当時、平成27年度の集中復興期間終了後の枠組みが示されてない中で、協議を行ってきたものでございます。ですので、平成27年度執行分のみということの申請に限られていたという、当時のものでございます。

それでは、お手元の資料、表紙をお捲りいただきまして1ページ目でございます。上の方の小さな表でございますが、これまでの交付経過をまとめてございます。第1回、平成24年3月の第1回交付から回を重ねて今回で第12回目となっております。事業ごとの内訳については、後ほどまたご説明いたしますが、第12回申請分といたしましては、対象事業費として4億3315万円であります。復興交付金の額といたしましては、お隣の3億4448万6000円でございます。こちらが配分額というふうになります。

続いて下の大きい総括表をご覧くださいと思います。今回の2事業とも、一番左の欄でございますが国交省管轄でございますので、国交省の欄に先刻の額と同様に交付対象事業費として4億3000万円余り、交付金額として3億4000万円余りの記載があるところでございます。同じく表の一番下のところの、網掛けになってございますが、宮古市事業計欄（エ）というところをご覧ください。まず、右に行きまして（Ａ）の交付金事業計画全体事業費でございますが、事業計画上の全体事業費の記載となっております。事業計画上の合計として833億5000万円余りの計上をしてございます。続いてお隣り右の方にまいりますと（Ｂ）欄でございま

す。先刻来ご説明をいたしました今回申請分として4億3300万円余りというような数字が入っているということでございます。それからその右に行きまして（C）欄に参ります。（C）欄は復興交付金事業計画交付可能額合計でございますが、上の表でもお示したとおり全体事業費としては、757億7915万円余りということになってございます。②の欄はですね、①のうち事業主負担を除いた額となっております。それから右の③の交付金額というところでございますが、先ほどの額に国費率、個々の補助率を乗じて配分交付金額を出してございますが、この数字が606億8054万円というふうになってございます。次にその右に行きます。（D）欄でございますが、5月末現在の執行済額の事業費を上げているところでございます。④執行済事業費のところの一番下を見ていただきますが、支払い済みの事業費として計上してございますが327億円余りというふうになってございます。対しまして未執行である事業費が⑤、その隣になってございますが、約412億円余りというふうになってございます。その隣、⑥には執行残の見込みといたしまして約17億円余りというところを計上しているところであります。それから、また右をご覧ください。（E）欄でございます。未交付の事業費となっておりますが、全体で約75億円余りが未交付事業費というふうに見込まれているところでございます。備考欄に参りますが、全体の事業数を積み上げているところでございます。全体事業で97事業でございます。97事業のうち、継続している事業が61事業。それから完了したもの、既に廃止をしたものが36事業というふうに整理しているところであります。

資料を1枚お送りいただきまして、2ページ以降が事業別状況として、算定の都合上、各省庁別に集計した表となっております。事業が列記されているところですが、今回の事業分については、さらにもう1ページ送りいただきまして、3ページの表ということになります、よろしいでしょうか。3ページ目の中ほどでございますが、国交省管轄のうち中ほどのところに法の協地区津波浸水防護施設整備事業と題名がついてございますが、4億1790万円を追加しているところでございます。本事業につきましては、津軽石の法の協地区に設置をする津波浸水防護施設の整備、それからそれに伴いまして、鉄道軌道が嵩上げになりますので、その嵩上げの基盤整備事業費ということで計上している事業費でございます。

それから、中段から少し下がっていただきまして、下の方に藤原地区津波避難路整備事業（用地）となっているところでございますが、そこに1525万円を追加してございます。こちらの事業につきましては、藤原地区の鉄道軌道を横断する避難路の整備というのに係る、今回の要求は用地費ということになってございます。

以上、2事業が今回の申請及び交付可能額の通知の内容ということになります。事業の実施にあたっては、それぞれ原課の方から補正予算に計上の上、事業実施の予定としているところでございます。以上が本日の説明内容となります。よろしくお願いいたします。

○議長（前川昌登君） 説明が終わりました。この件について何かご質問があれば挙手願います。

田中議員。

26番（田中 尚君） 先ほどの説明で今日の内容は理解するわけでございますが、この事業に関連いたしまして、国の方におきましては、地方負担の問題が出まして、だいたい率も示されました。この間、事業もして参りましたし、今後も未執行の事業を抱えておりますが、この国の方の示した被災地の市町村の今後予想されます事業費負担額、あるいは市の影響額はどのように我々受け止めたらいいいのか、もし数字を掴んでおられれば、この機会にお答えいただきたいと思います。

○議長（前川昌登君） 多田復興推進課長。

○復興推進課長（多田 康君） 春先以来、交付金の一部地方負担の報道がさまざまございました。

時期としては6月の末をもって閣議決定がされたというようになってございますので、先の6月定例会においても一般質問をいただきまして、市長から答弁をしたところでございますが、再度内容を繰り返させていただきます。

地方負担によって、今回負担増が見込まれる事業、大きく三つございます。一つは道路整備等がございます社会資本整備総合交付金の復興枠、いわゆる社総交と呼ばれる事業でございます。これらの負担額として現在見込んでいる額といたしましては6000万円でございます。それから、ごみ焼却施設等の改良に係る循環型社会形成推進交付金の復興枠という事業がございます。この負担額の見込みが現在4000万円となっております。このほか、漁港等の整備を進める水産基盤整備事業への負担金ということで約2000万円を見込んでございます。この3事業合わせますと、約1億2000万円ということで今試算しているところでございますので、この額が新たな負担と見込まれる額でございます。

○議長（前川昌登君） 田中議員。

26番（田中 尚君） はい、ありがとうございます。

この金額を見ますと、あえて市町村に負担を求めるような、そういう金額なのかなという思いがいたします。一方においては、例の国立競技場がですね、いきなり2000億円を超えるような形の事業費が飛びだすとかですね、いったい国の財政感覚はどうなっているのかということは余計ではありますが、今のお答えを踏まえまして、私の意見を述べさせていただきます。以上です。

○議長（前川昌登君） ほかに、ご質問ございますか。

なければ、この件はこれで終わります。説明員は退席願います。次にその他ですが、事務局から連絡があります。

菊地主査。

○事務局主査（菊地政幸君） それでは事務局の方から2点ほど連絡を行います。

まず、最初にあらかじめファックスで皆さんに連絡はしておりましたが、来週の火曜日、7月14日の臨時会の開会前に、今年度、市の方で発行いたします市政要覧に掲載する写真の撮影を行います。当初、ファックスの連絡では、臨時会の開会前の9時50分からとしておりましたが、その後に当日9時半から全協をこの会場で開催することになりました。ですので、全協終了後に直ちにこの会場で撮影を行いたいと思います。撮影場所についてはこの会場で、今、皆さん着席されているこの状態で、議長席のあたりから全景を撮るというかたちになります。撮影時の服装につきましては、上着、ネクタイを着用することになりますので、忘れずにお願いしたいと思います。なお、その後に本会議等ございますので、撮影が終わりましたらクールビズで本会議に臨んでいただいで構いません。1点目がこちらの連絡になります。

2点目ですけれども、毎年行っております全国市議会議長会の研究フォーラム、今年度が11月18日、19日の2日間、福島市で開催されます。参加の申込期限が7月21日火曜日ということになっております。こちらの冊子が事務局に5冊しかきておりませんので、毎年定員が2,000名となっておりますけれども、オーバーした場合は抽選となっているようですので、参加される方は早めに事務局にご連絡いただければと思います。連絡は以上となります。

○議長（前川昌登君） その福島のフォーラムには、現場からの報告ということで陸前高田市の議長さんが出ることになっていきますので、市議会の皆さまから是非ご参加をいただければと思います。

閉 会

○議長（前川昌登君） その他、皆さまから何もなければ、これをもって議員全員協議会を終わります。
ご苦労さまでした。

午前10時15分 閉会

宮古市議会議長 前 川 昌 登